

将来目指す まちのすがた



①太陽光発電

②カーシェアリング

③ZEH

④ZEF

⑤充電/充填ステーション

⑥ZEB

⑦電気自動車

⑧燃料電池車

⑨サイクルシェアリング

⑩風力発電

⑩海洋エネルギーの活用

⑪水素

⑫合成メタン

⑬アンモニア

①太陽光発電

シート状のパネルが市販されるなど、様々な場所への設置が進んでいます。蓄電システムも普及し、発電した電気を自家消費する家庭や事業者が大半を占めています。

②カー/サイクルシェアリング

電気自動車や電動自転車などが、いつでも利用できるシェアリングサービスが普及しています。必要な時に必要なだけ環境にやさしい移動手段が利用できます。

③ZEH（ゼッチ）

快適な室内環境の実現と、住宅で消費するエネルギーの収支をゼロにするZEHの住宅を選択する市民が増えており、エネルギーへの関心が高まっています。

④ZEF（ゼフ）

多くの工場では、使用するエネルギーが電気に置き換わり、再生可能エネルギーで発電した電気を活用することでエネルギーの収支がゼロになっています。

⑤充電/充填ステーション

電気自動車用の充電ステーションや、燃料電池車用の充填ステーションの設置が進んでいます。充電ステーションは、充電をするタイプだけではなく、電池を交換するようにバッテリーの入れ替えをするタイプのステーションも増えています。

⑥ZEB（ゼブ）

オフィスビルや商業ビルは、自然光を取り入れた照明や地中熱を利用した空調など、様々な工夫をしてエネルギーの収支をゼロにしています。

⑦電気自動車（EV）

EVは様々な車種があり家や市内のいろいろな所で充電ができます。万が一の際には、家に給電することもできます。

⑧燃料電池車（FCV）

バスやトラックなど長い距離を移動する車両は、水素を利用して走る燃料電池車化が進み、電気モーターを使って走るため、静かな走行が可能になります。

⑨風力発電

再生可能エネルギーが主力電力となり、洋上などに風力発電が建設されています。着床式風力発電だけではなく浮体式風力発電も増えています。

⑩海洋エネルギーの活用

波の力を利用した波力発電、潮の満ち引きを利用した潮汐力発電、海流を利用した海流発電、海面の水と深海の水の温度差を利用した海洋温度差発電など、海洋エネルギーの活用が進んでいます。

⑪水素

発電をする時にCO₂を出さない燃料電池が、様々な場面で利用されています。燃料の水素は、再生可能エネルギーを利用して作られたグリーン水素が流通しています。

⑫合成メタン

CO₂を原料にして合成するメタンが、都市ガスに利用されています。燃焼する時にCO₂が発生しても、総排出量が増加しないことからカーボンニュートラルメタンとも呼ばれます。

⑬アンモニア

燃焼してもCO₂を出さないアンモニアは、燃焼が必要な場面でのエネルギー源として利用が進んでいます。